

■その他の接続装置

制御ソフトに温調機器設定を標準搭載しており、チューブヒーター（オプション）などの接続が可能です。

The screenshot shows the 'Synthesis' software interface in 'Auto mode'. It features a flow diagram with components labeled FM-1 to FM-6, PH-1 to PH-2, and TC-1 to TC-3. A '測定温度(温度センサ)' (Measured Temperature) section shows TC-1, TC-2, and TC-3 all at 37.6 °C. A '温調装置の状態' (Heating Device Status) table lists five temperature controllers with their respective PV, SV, and Solvent settings. A 'チューブヒーター HM' (Tube Heater) is shown as a physical component in a separate image.

※他社の温調機器も使用可能です。ご入用の際はご相談ください。

■構成例 / 販売価格・スペック

	4Line	2Line	3Line (気液、温調追加)
ブランジャーポンプ (PP)	4	2	2
試薬切替ユニット	4	—	2
自動背圧弁 (ABPR)	1	1	1
フラクションコレクタ (FC)	1	1	1
マスフローコントローラー	—	—	1
チューブヒーター HM (オプション)	—	—	1
FC ラック (10ml x 50 本)	1	1	1
制御ソフト	4	2	3
制御 BOX (メイン)	1	1	1
装置サイズ	W870×D550×H600mm	W800×D350×H600mm	W870×D600×H600mm
価格	805 万円～	457 万円～	722 万円～

	仕様	備考
PP 流速設定範囲	0.01～99.999ml/min	反応時間から算出
ABPR 設定範囲	0.1～5.0MPa	
フラクションコレクタ (FC)	50 本 (10ml)・18 本 (50ml)・10 本 (110ml) から選択	ラックの仕様により、価格は異なります

※上記の価格は参考価格です。構成によって価格は異なります

プロセス検討用自動合成装置

**AltaFlow**



プロセス検討用自動合成装置

# AltaFlow

— AltaFlow は OptimFlow のノウハウから誕生しました —

## AltaFlowの特長

1. ユーザーニーズに合わせた温調、計測機器を接続可能。
2. 1Lineにつき、3~4本の試薬ボトルを自動切替。
3. 専用ソフトを使用した大容量の合成が可能。



## ■装置概要と合成の流れ

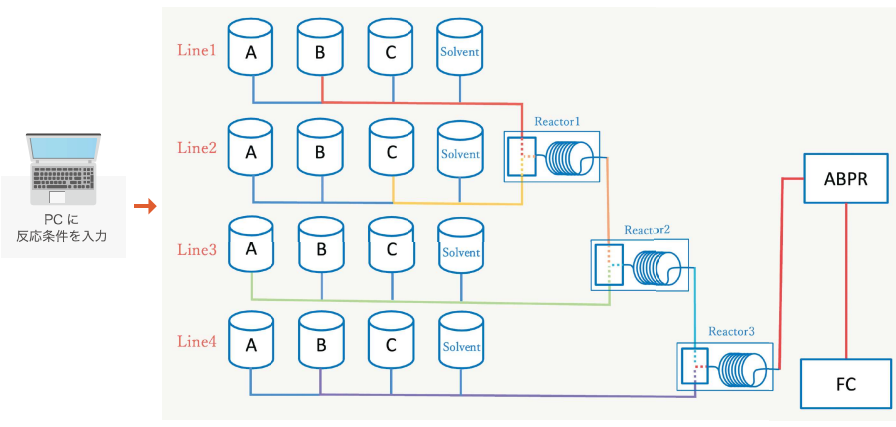
### 装置の概要

- わずらわしい計算が不要で、自動合成が可能。
- 直感的に操作できる合成ソフトが付属。
- 最大6Line・5リアクタ(5段反応)による合成を実現。

試薬をセットし、合成ソフトの操作を開始すれば、必要な処理・時間調整・洗浄などのすべてを自動で行えます。

### 合成の流れ

各ラインごとに3種類のサンプル(試薬)から1種類を選んで、リアクタで合成します。Solventをサンプルに変更することも可能です。



## ■AltaFlowの優れた機能

1. 詳細な実験値の設定を【Flow Rate】もしくは【Residence Time】の2種類選択可能  
【Flow Rate】と【Residence Time】の2つのうち、用途に合わせて合成条件を設定できます。



[Flow Rate] 流量重視

【設定可能】  
・流量 (ml/min)



[Residence Time] 滞留時間

【設定可能】  
・滞留時間  
・試薬濃度  
・試薬のモル比

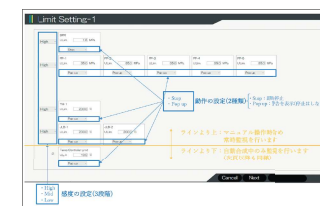
2. Limitの設定により、異常を検出した際の【警告】、または【停止】の設定が可能

異常を検出すると、【警告】か【停止】のどちらかを画面上に表示するかの設定が可能。

警告 ⇒ すぐに停止してしまうと危険な反応を回避できます。

停止 ⇒ すぐに中止できます。

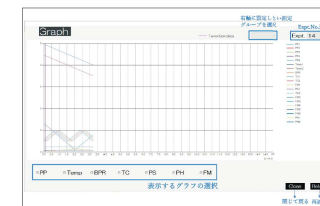
感度は【High】【Mild】【Low】の3段階から選択できます。



3. 詳細グラフをソフト上で記録、表示が可能

合成中のさまざまな数値(液温、背圧、流速など)を記録します。

- ・各機器の表示選択
- ・グループの絞り込み
- ・前後の過去グラフの閲覧、切り替え



## ■FC Plate の表示

自動合成画面から、合成後のコレクト位置が色付きで確認できます。

各実験ごとに色が切り替わるため、連続で合成した場合でもコレクト位置を見失いません。

